

～子どもから大人まで～

社会力が よくわかる連続講座(2)



お問合せ
教育委員会学校教育課
☎ 885-0340(内) 226

Q 2. 美浦村では、どうして「社会力育て」を教育目標にしているのですか？

A. おっしゃるとおり、美浦村では5年前から「0歳から90歳までの社会力育て」を教育目標にし、選書会や読み合い・ノーテレビノーゲーム運動など、様々な施策を行ってきています。どうして美浦村で社会力を育てる教育を行うことにしたのか。それは、美浦村に住んでいるすべての人たちが社会力のある人間になれば、村がどんどん発展し、より活力のある、より住みよい、より希望の持てるいい村になると考えているからです。

ご存じのように、今は全国どこの市町村も同じような悩みや問題を抱えています。その問題とは、子どもの数がどんどん減り、逆に高齢者が増え、全体として人口が減り、それにより地域に元気がなくなっていることです。

また、人口が少なくなっていることと関係しますが、税金を納める人が少なくなると、橋を作ったり、道路を直したり、図書館などの新しい施設を作ったり、交通の便をよくする地域専用のバスやタクシーを運行させたり、子育てや教育のために使ったり、高齢者の負担を軽くするなど、村を住みよくするために使うお金がどんどん少なくなっていることです。

このような状況で、どうしたら元気のある住みよい村にすることができるのでしょうか。誰でもすぐ分かることは、道路の修理でも、公園の保存管理でも、学校や幼稚園のお手伝いでも、身近な現状をよくするために何かできることがあったら、自分から進んでどんどんやってあげればよいということです。

美浦村でも「陸平をヨイシヨする会」をはじめ、いくつかのボランティア団体などが頑張っていますが、福島県の矢祭町や島根県の雲南市では住民が行政に協力し、一層力を入れてやり始めました。美浦村もそのようになるために、さらに社会力を育てる必要があるのです。



美浦村商工会青年部だより



4月12日、第19回木原城山まつり開催会場にて。

平成27・28年度新役員決定

- 部長 増尾浩也〔(株)増尾電気設備〕
- 副部長 柳生智則〔(株)柳生電気商会〕
- 〃 坂部正樹〔サンフレッシュ美浦〕
- 〃 井上秀一〔井上造園(株)〕
- 監事 橋本竜也〔セレモニー博善(株)〕
- 〃 中島竜樹〔(株)中島スプリング〕
- 顧問 栗山秀樹〔栗山工業(株)〕
- 〃 鈴木聡使〔(株)鈴生ハウジング〕

□お問い合わせ先
美浦村商工会青年部 ☎ 885-2250